

6) 年間粗死亡率と生存率

(2) 導入後1年・5年・10年・15年・20年生存率の推移 (図表20)



解説

1983年以降導入患者の生存率

経年的な導入患者の生存率をみると、1年生存率は例年80%以上を示し、この数年間は87.3%以上を示しています。導入の原因疾患が管理困難な疾患であることを考慮すると治療成績の向上がみられると考えられます。5年生存率は61.4%であり、この数年は成績の改善がみられます。10年生存率は39.2%、15年生存率は28.7%です。長期の生存率は年々低下傾向にあり、長期生存の困難さを意味します。これは患者の高齢化に加えて、長期透析に伴う合併症が関与すると考えられます。

今回より20年生存率が計算され、26.9%となっています。